

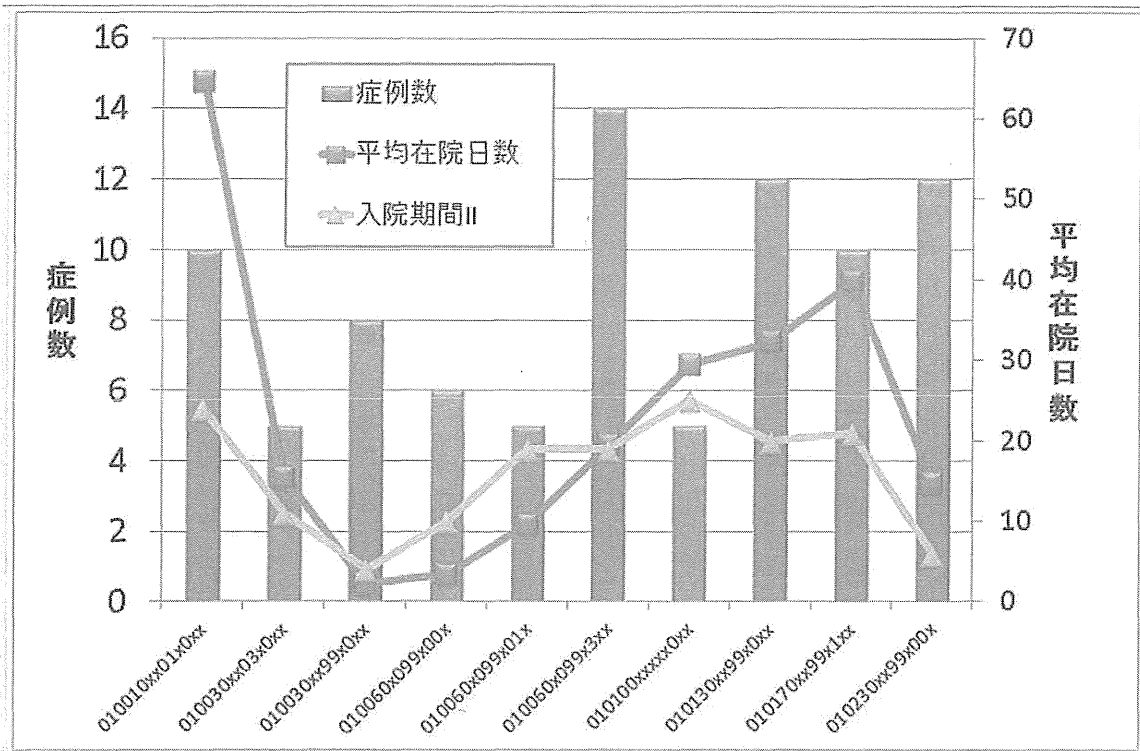
## 本日のお題

- BIツールを使ってみる
- DPC14桁別の自院の平均在院日数とそれに対する入院期間Ⅱを求める。
- 加えて、症例数を表示する。
- 但し、5例以上のものに限定する。
- 平均在院日数は小数点1桁とする。

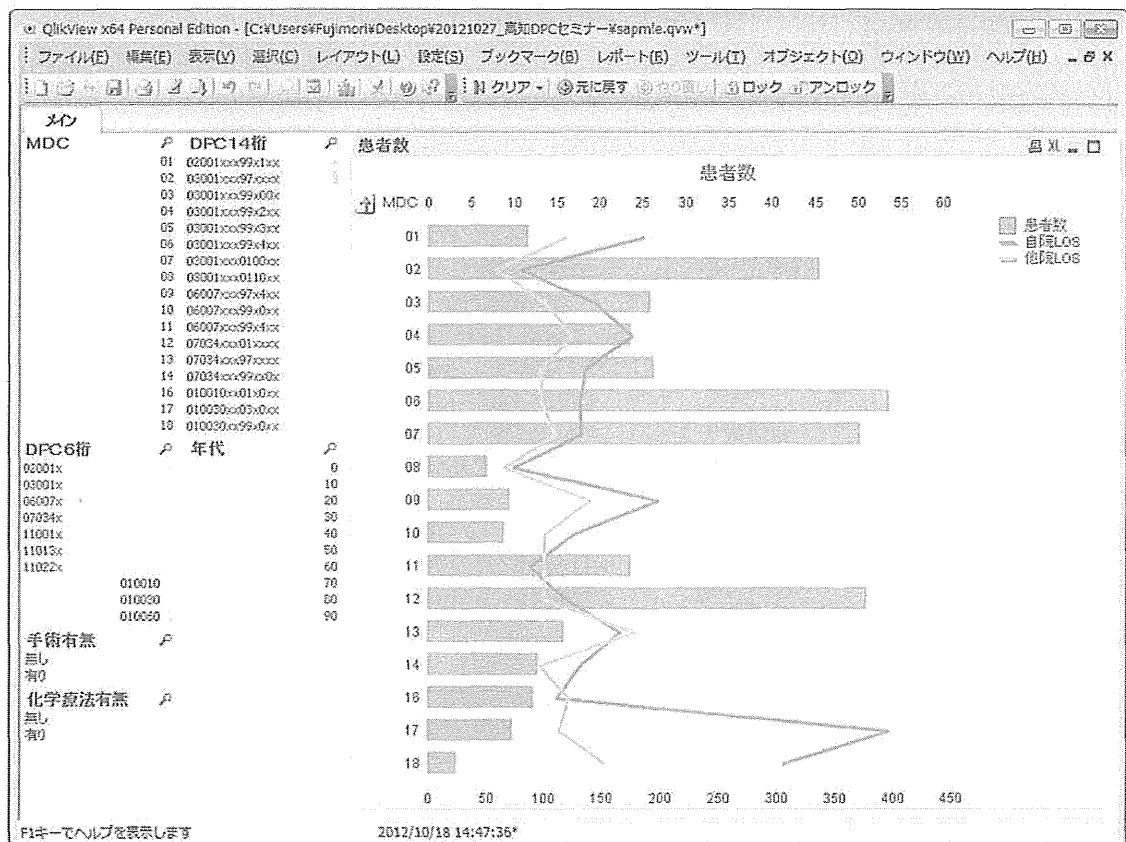
### こんなデータがあったとしましょう

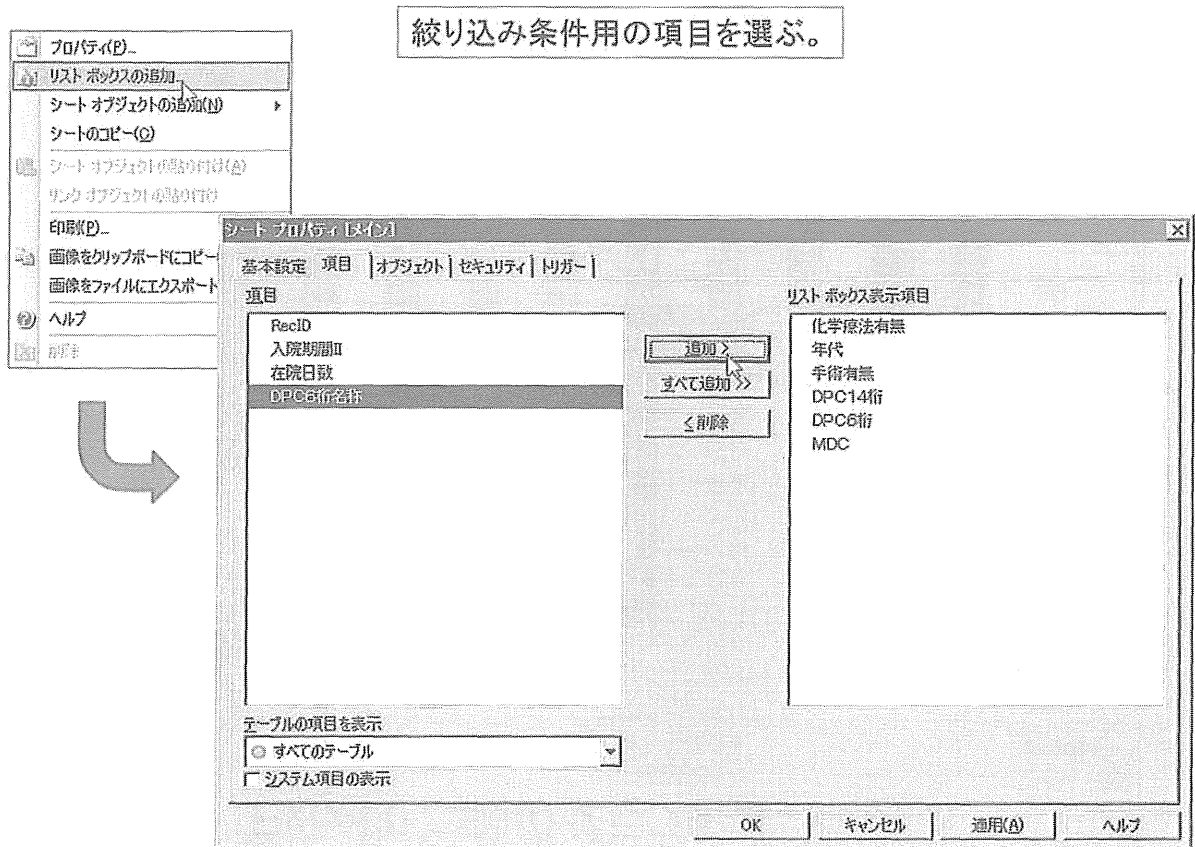
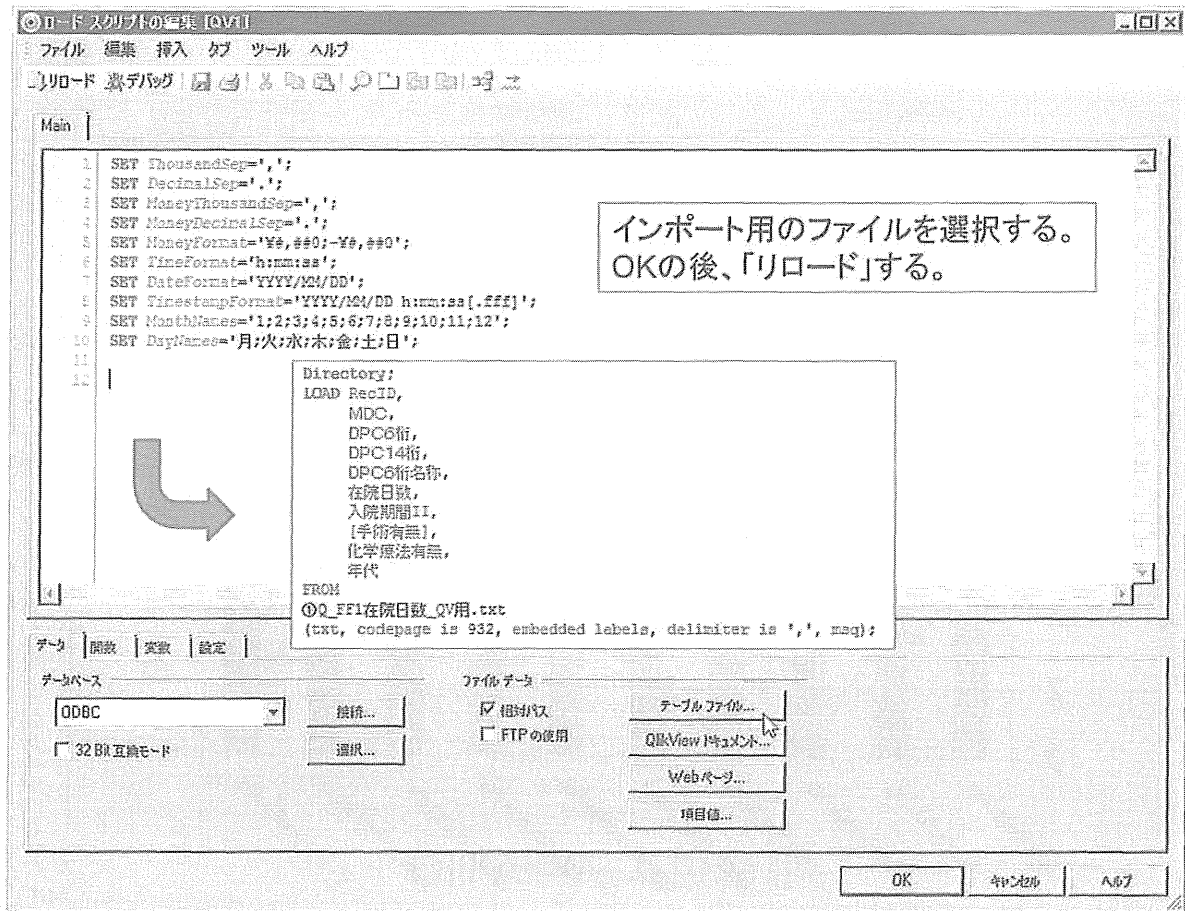
| RecID                  | MD<br>C | DPC6桁  | DPC14桁         | DPC6桁名称                     | 在院<br>日数 | 入院期<br>間Ⅱ | 手術有<br>無 | 化学療<br>法有無 | 年代 |
|------------------------|---------|--------|----------------|-----------------------------|----------|-----------|----------|------------|----|
| 00500017162<br>0090720 | 02      | 020220 | 020220xx99xx0x | 緑内障                         | 2        | 3         | 無し       | 無し         | 50 |
| 00500047942<br>0090724 | 07      | 070560 | 070560xx99x0xx | 全身性臓器障害を<br>伴う自己免疫性疾患       | 3        | 21        | 無し       | 無し         | 30 |
| 00500090482<br>0090730 | 04      | 040080 | 040080xx99x00x | 肺炎、急性気管支炎、<br>急性細気管支炎       | 2        | 8         | 無し       | 無し         | 60 |
| 00500060782<br>0090619 | 05      | 050163 | 050163xx04x0xx | 非破裂性大動脈瘤、<br>腸骨動脈瘤          | 25       | 18        | 有り       | 無し         | 80 |
| 00500076502<br>0090623 | 02      | 020160 | 020160xx97xxx0 | 網膜剥離                        | 16       | 14        | 有り       | 無し         | 50 |
| 00500049202<br>0090601 | 07      | 070045 | 070045xx99x1xx | 黒色腫                         | 36       | 11        | 無し       | 無し         | 30 |
| 00500077732<br>0090626 | 14      | 140010 | 140010x299x00x | 妊娠期間短縮、低出<br>産体重に関連する障<br>害 | 9        | 12        | 無し       | 無し         | 0  |
| 00500019292<br>0090703 | 07      | 07034x | 07034xxx99xx0x | 脊柱管狭窄(脊椎症<br>を含む。)          | 24       | 8         | 無し       | 無し         | 50 |

# Excelで二軸のグラフを書いてみる



# QlikView®で可視化





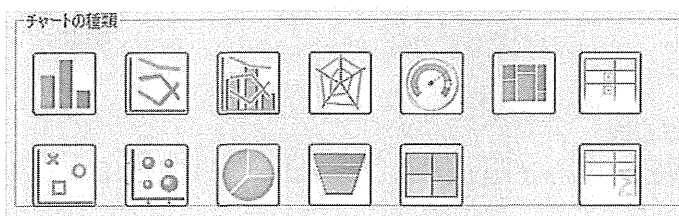
リストを適宜並び変えて見栄えを調整。  
配置/整列も使えます。  
項目内の並び替えは「ソート」が使えますが、  
少しコツが必要です。

F1キーでヘルプを表示します 2011/03/11 17:50:47\*

プロパティ...  
リストボックスの追加...  
シートオブジェクトの追加...  
シートのコピー...  
シートオブジェクトの貼り付け...  
リンクオブジェクトの貼り付け...  
印刷...  
画像をクリップボードにコピー...  
画像をファイルにエクスポート...  
ヘルプ...  
名前...

リストボックス...  
統計ボックス...  
マルチボックス...  
テーブルボックス...  
チャート...  
入力ボックス...  
選択表示ボックス...  
ボタスイ...  
テキストオブジェクト...  
線/矢印オブジェクト...  
スライダー/カレンダーオブジェクト...  
ブックマークオブジェクト...  
検索オブジェクト...  
コンテナ...  
カスタムオブジェクト...  
システムテーブル...

グラフを書く。  
たくさんの種類があるが、ここでは  
棒と線のコンビを選ぶ。  
同じ画面で、複数のグラフを切り替  
えることもできる。





項目/グループ

|         |
|---------|
| RecID   |
| 入院期間II  |
| 化学療法有無  |
| 在院日数    |
| 年代      |
| 手術有無    |
| DPC14桁  |
| DPC6桁   |
| DPC6桁名称 |
| MDC     |

システム項目の表示  
 テーブルの項目を表示  
 全てのテーブル

「グループの編集」でドリルダウン用の項目を作成します。  
MDC→DPC6桁→DPC14桁の順。

グループの設定

グループ名  ドリルダウングループ  
 サイリックグループ

グループ名: DPCドリルダウン

|    |         |
|----|---------|
| 項目 | RecID   |
|    | 入院期間II  |
|    | 化学療法有無  |
|    | 在院日数    |
|    | 年代      |
|    | 手術有無    |
|    | DPC6桁名称 |

|      |        |
|------|--------|
| 使用項目 | MDC    |
|      | DPC6桁  |
|      | DPC14桁 |

テーブルの項目を表示  
 全てのテーブル

変換  
 項目名を使用する

チャートプロパティ

基本設定 | 軸 | 数式 | ソート | スタイル | プレゼンテーション | 目盛線 | 色 | 数値書式 | フォント | レイアウト | キャプション

項目/グループ

|         |
|---------|
| RecID   |
| 入院期間II  |
| 化学療法有無  |
| 在院日数    |
| 年代      |
| 手術有無    |
| DPC14桁  |
| DPC6桁   |
| DPC6桁名称 |
| MDC     |

システム項目の表示  
 テーブルの項目を表示  
 全てのテーブル

軸項目

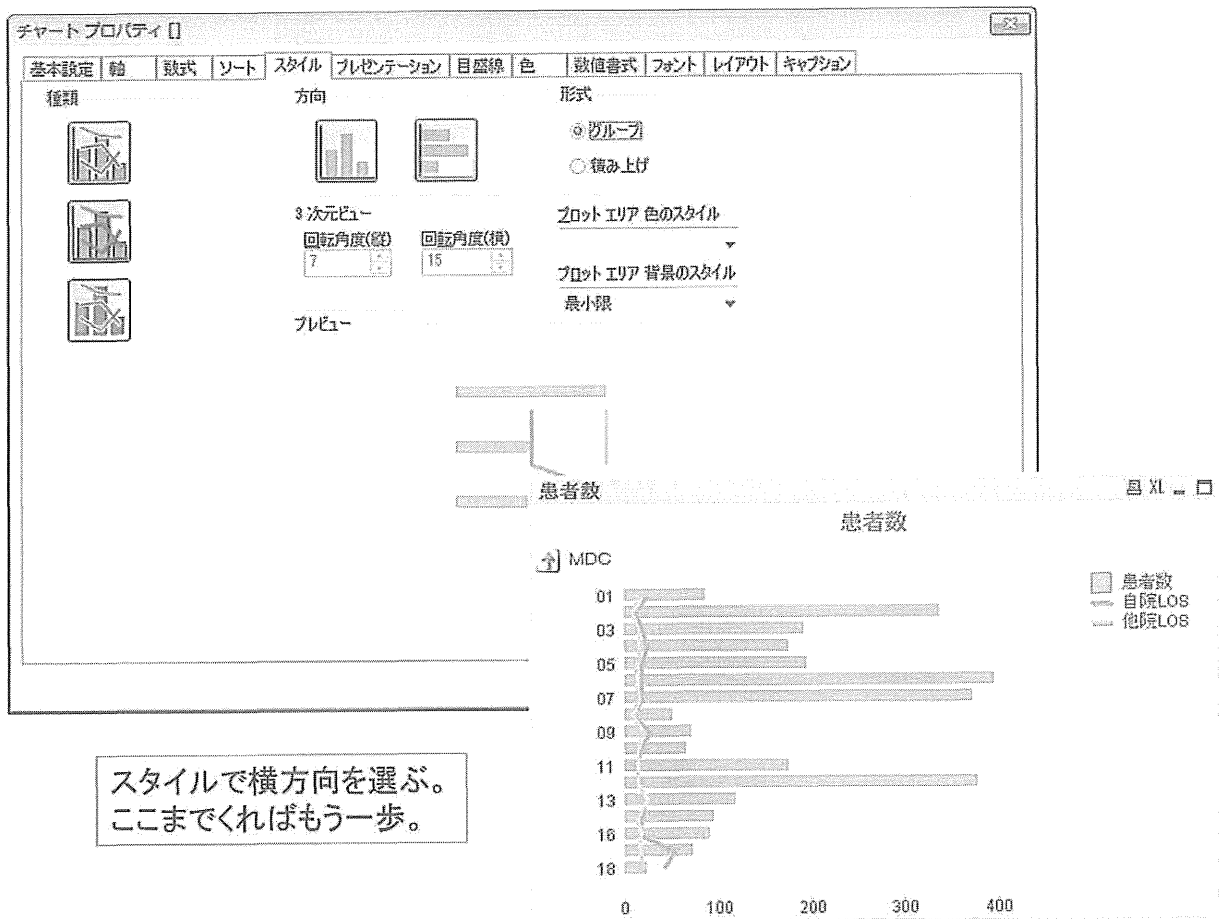
DPCドリルダウン

選択軸項目の設定  
 NULL値を隠す  
 全ての値を表示  
 凡例の表示  
 変換  
 項目名を使用する

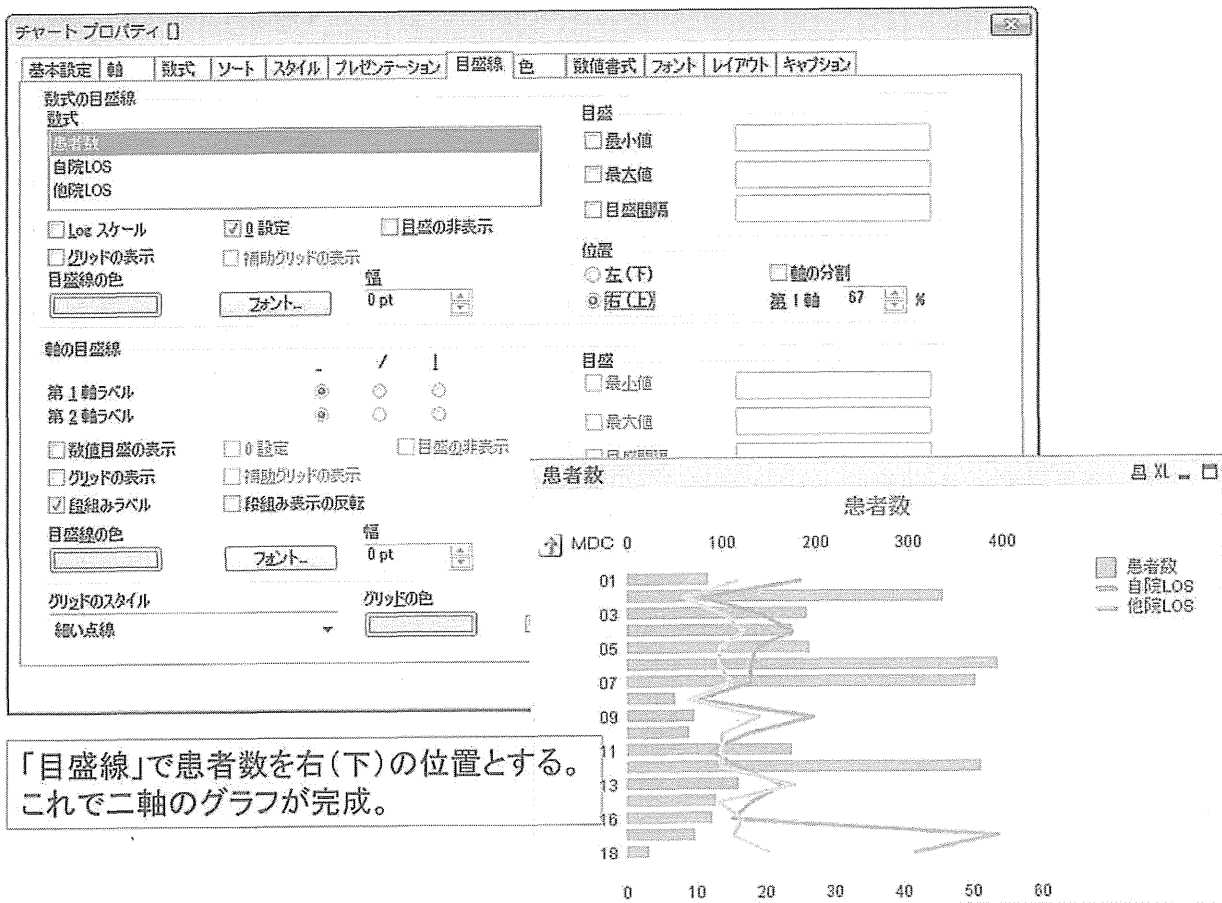
改ページ  
 改ページなし

軸項目に、今作ったドリルダウン項目を追加する。





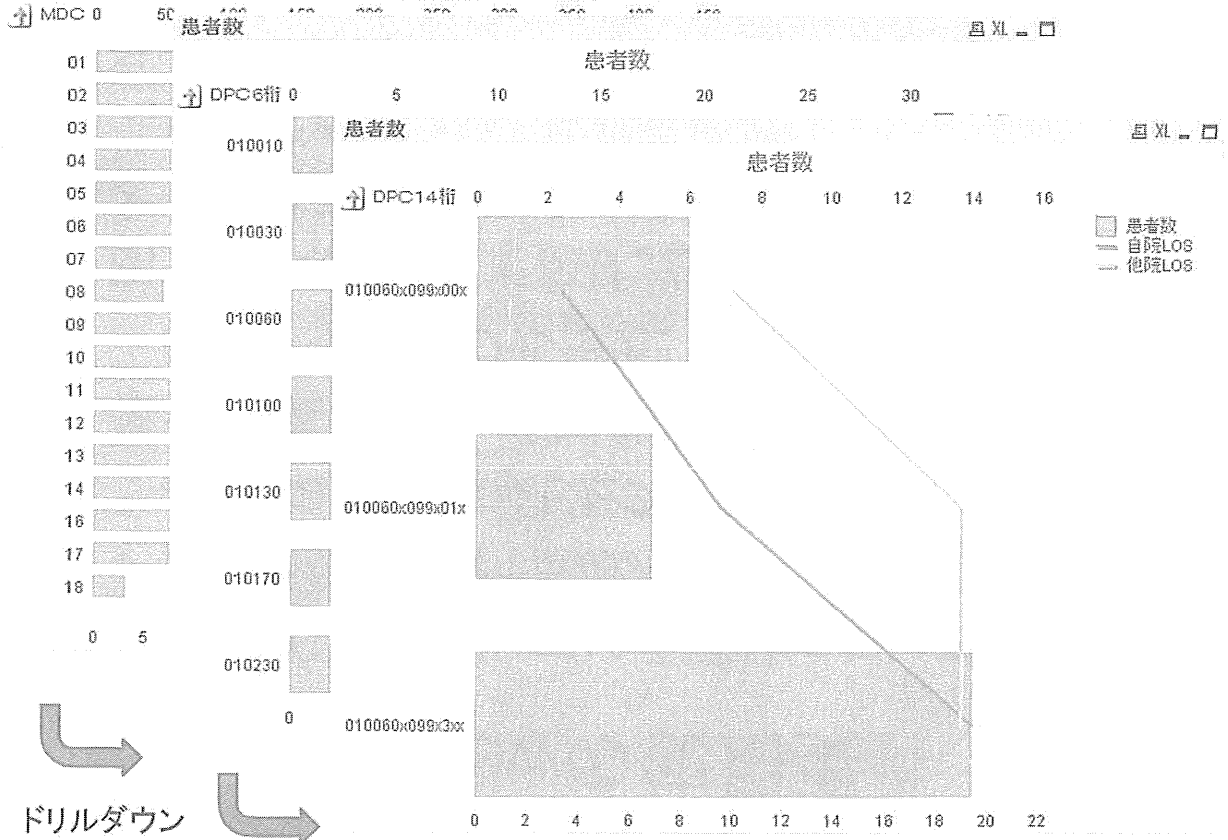
スタイルで横方向を選ぶ。  
ここまでくればもう一歩。



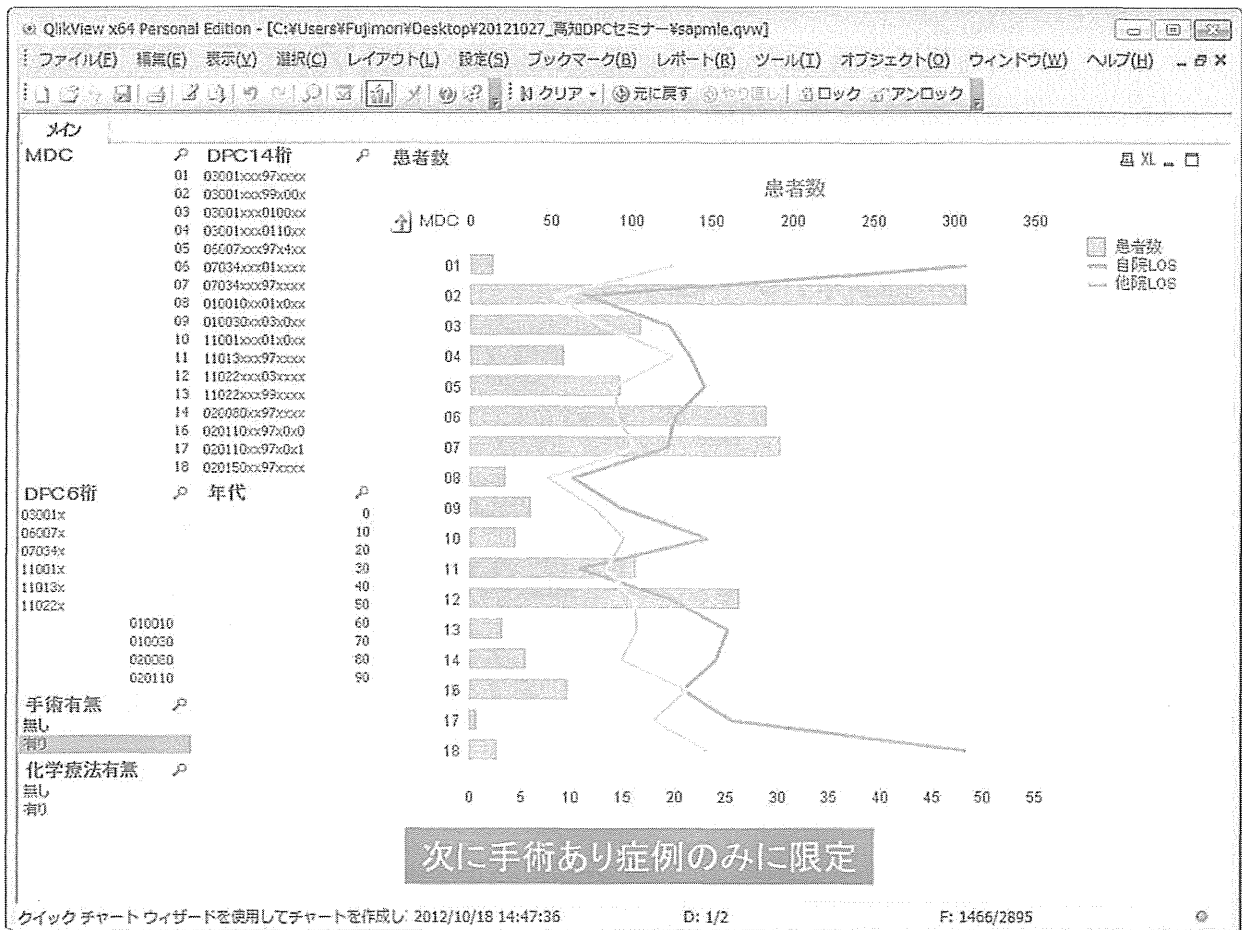
「目盛線」で患者数を右(下)の位置とする。  
これで二軸のグラフが完成。

患者数

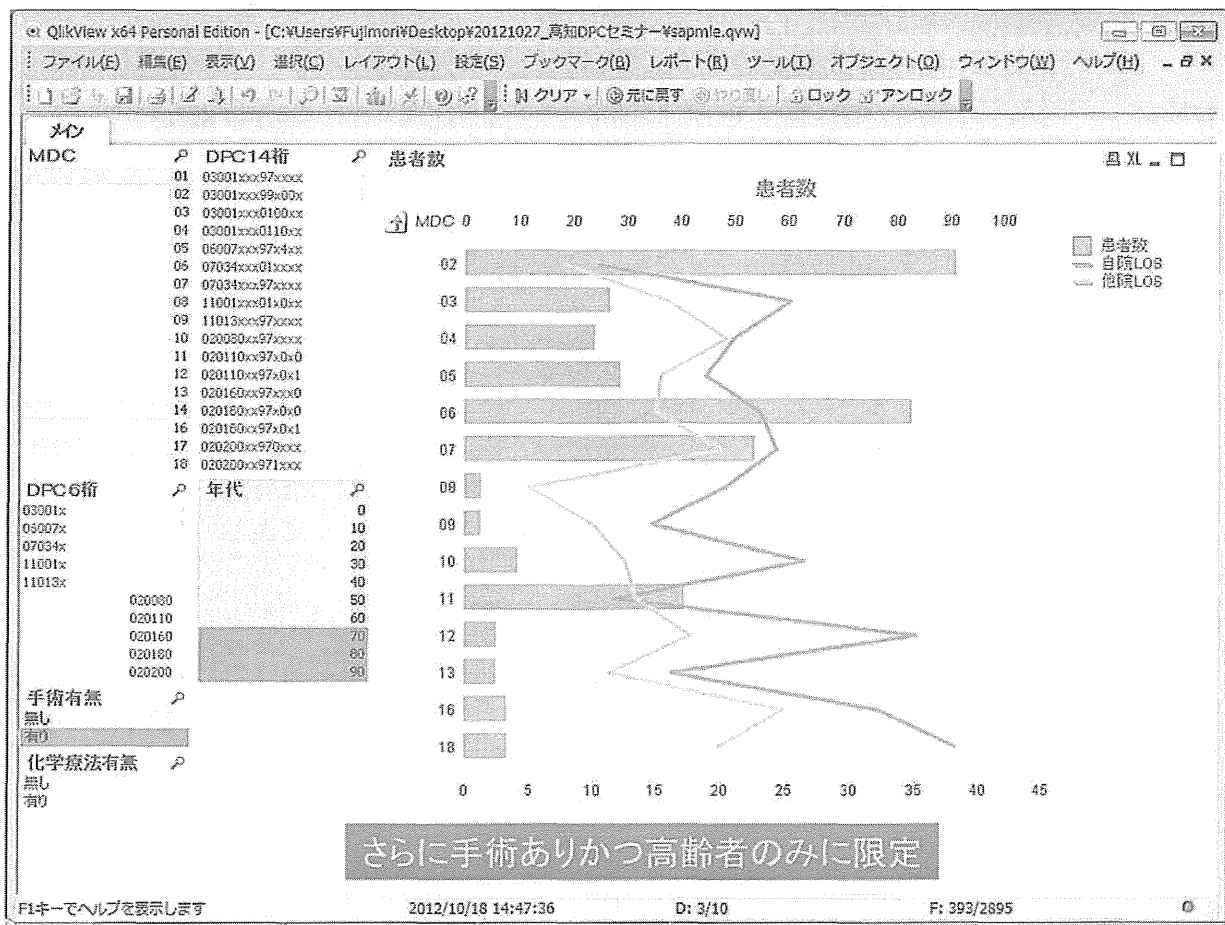
では使ってみましょう。まずドリルダウン



ドリルダウン



次に手術あり症例のみに限定



## QlikViewの使用要件

- 1台のPCで利用している限りにおいては無償
  - ✓ 機能的な制約は1点のみ
    - 他のPCで作成したファイルは扱えない
- 表示結果の出力は制約なし
  - ✓ Excelへのテーブル出力、グラフのpng出力
- BIツールの一種であり、生のDPCデータが扱えるわけではない
  - ✓ DPCデータの加工は別途必要
- ライセンスは①サーバー＋ユーザと②スタンダードアローン

## 復習のための教材

- スクリーンキャストを公開しています
- <http://youtu.be/paP6D3WZ4Vc>
- 1080pでご覧ください
- ご質問などございましたらご連絡ください
- [Km@med.uoeh-u.ac.jp](mailto:Km@med.uoeh-u.ac.jp)

## 伏見班セミナー QlikView実習

2013/01/26@kobe univ.

村松圭司 [km@med.uoeh-u.ac.jp](mailto:km@med.uoeh-u.ac.jp)

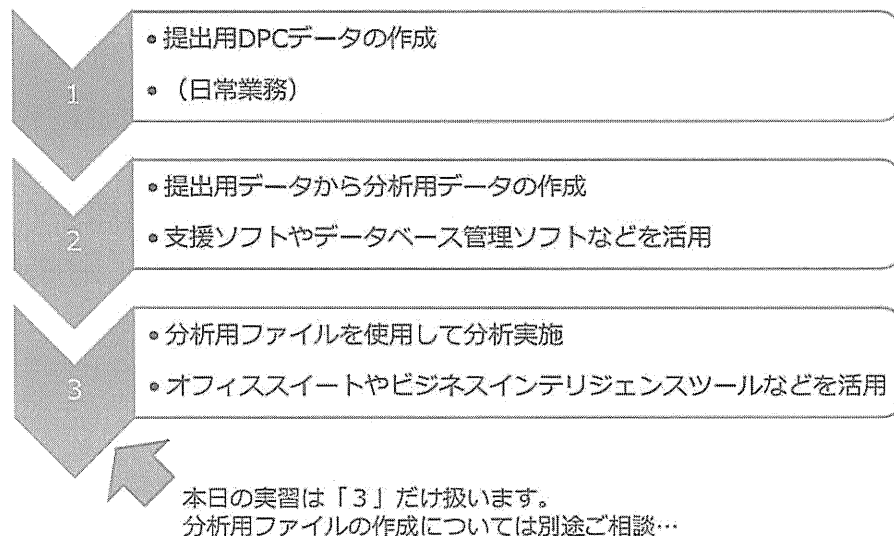
## 実習の内容

- ビジネス・インテリジェンス(BI)ツールであるQlikViewを用いてEファイル・Fファイルの分析を行います
- 診療行為のプロセス・医療費分析が可能です
- QlikView初心者を対象としています
- QlikView Ver.10以上をインストールしたWindows PCと二口以上のAC電源延長コードをご持参ください

## 配布資料の説明

- exEfile.txt : ダミーのEファイルを分析用に加工したもの
- exFfile.txt : ダミーのFファイルを分析用に加工したもの

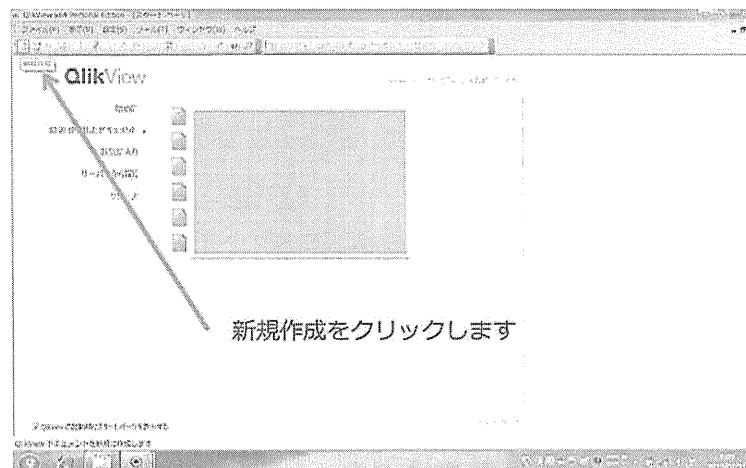
## 本実習の位置づけ



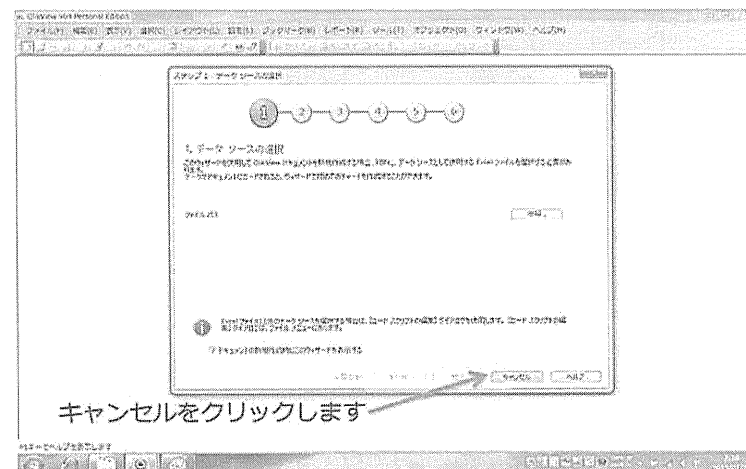
## ステップ

- データの取り込み
- 個人別医療費の可視化
- 日別医療費の可視化
- 日別出来高医療費の可視化

## データの取り込み

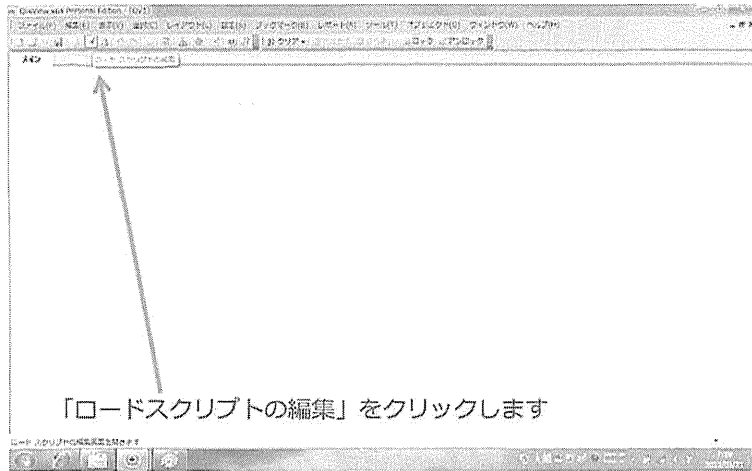


## データの取り込み

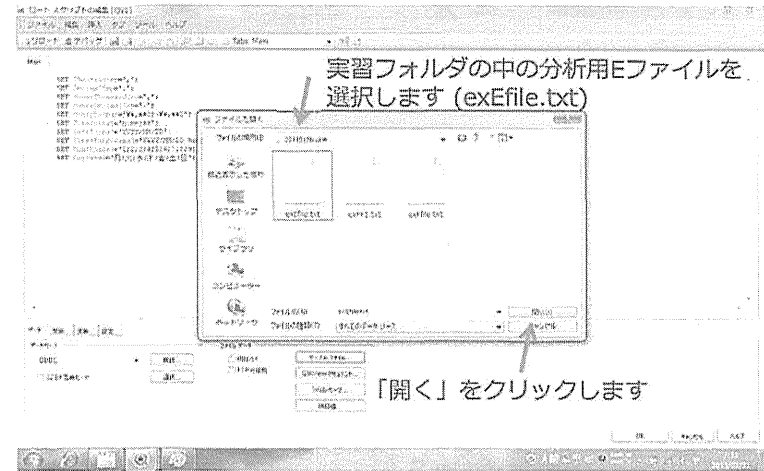




# ロードスクリプトの編集

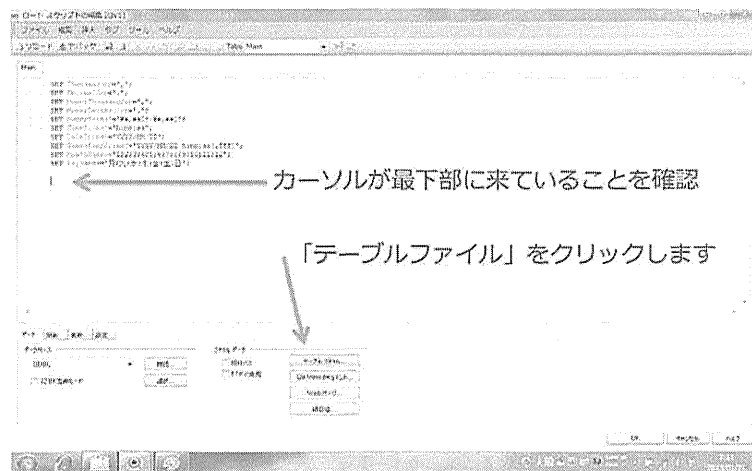


# ロードスクリプトの編集

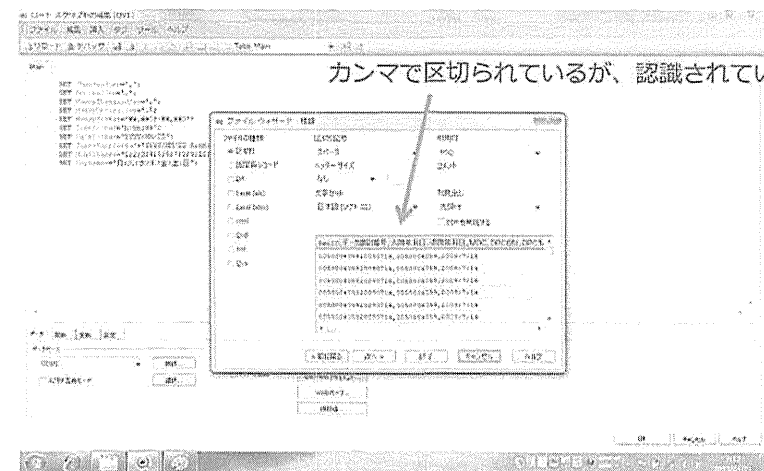


449

# ロードスクリプトの編集

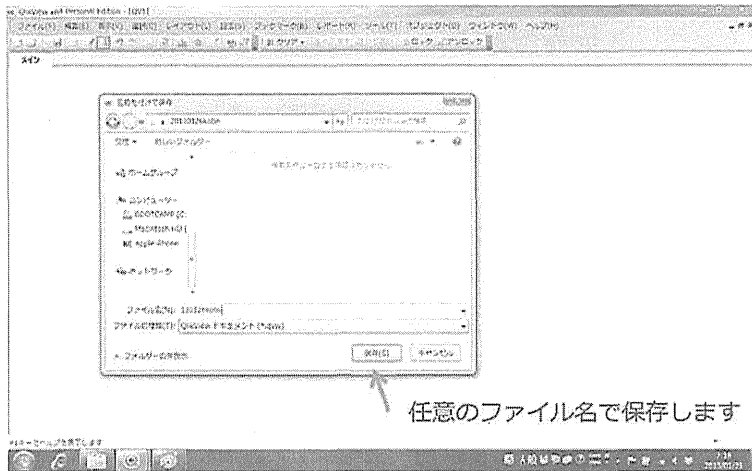


# ロードスクリプトの編集



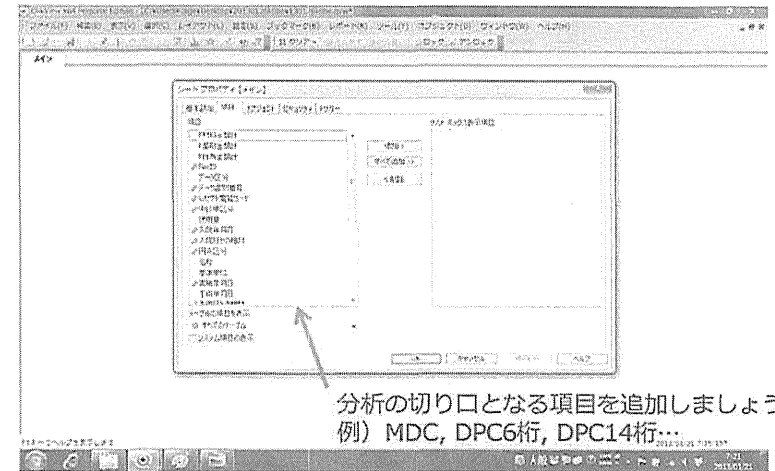


# ファイルの保存



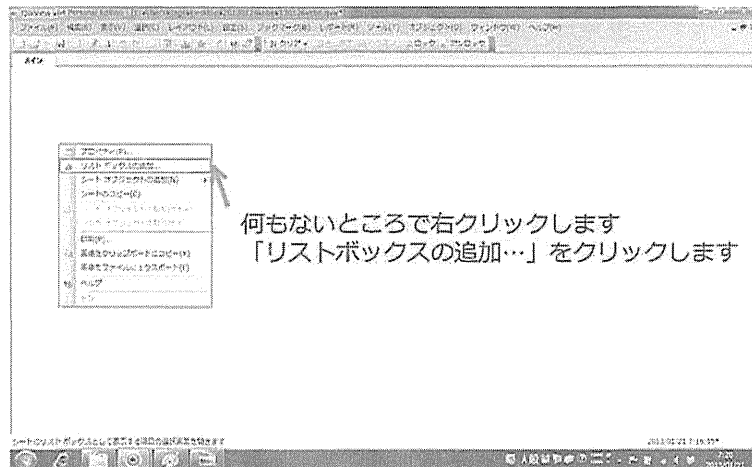
※実習用ファイルは一瞬でリロードが終わります。自院データなど大きなファイルではそれなりの時間がかかります。(メッセージが出ます)

# リストボックスの追加



マウスでシングルクリックした後「追加」ボタンをクリックするかダブルクリックすることで表示項目に追加できます

# 個人別医療費の可視化

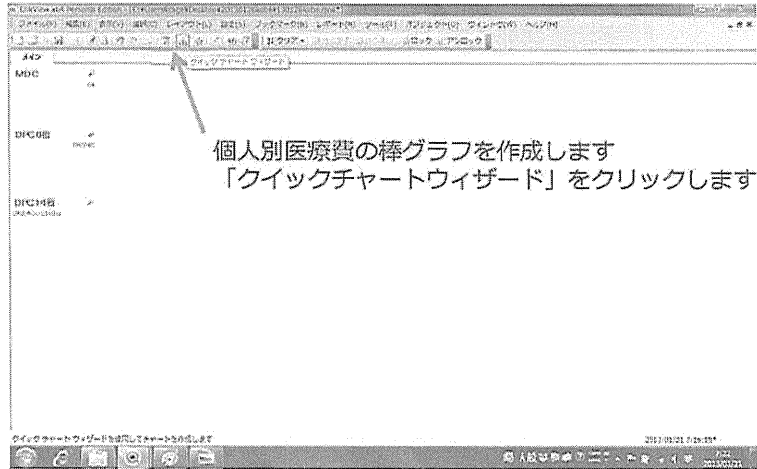


# リストボックスの追加

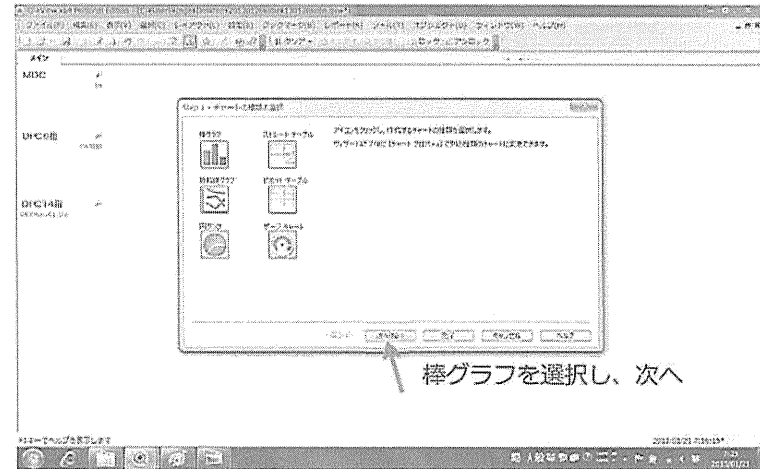


分析の切り口となる項目を追加しましょう 例) MDC, DPC6桁, DPC14桁...

# チャートの作成

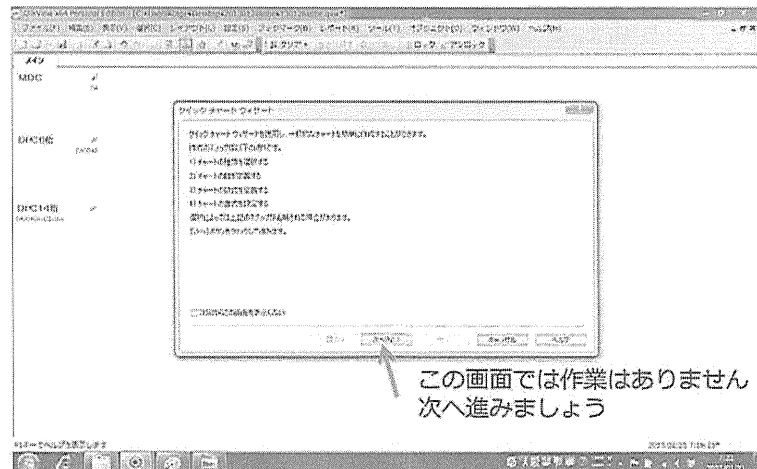


# チャートの作成

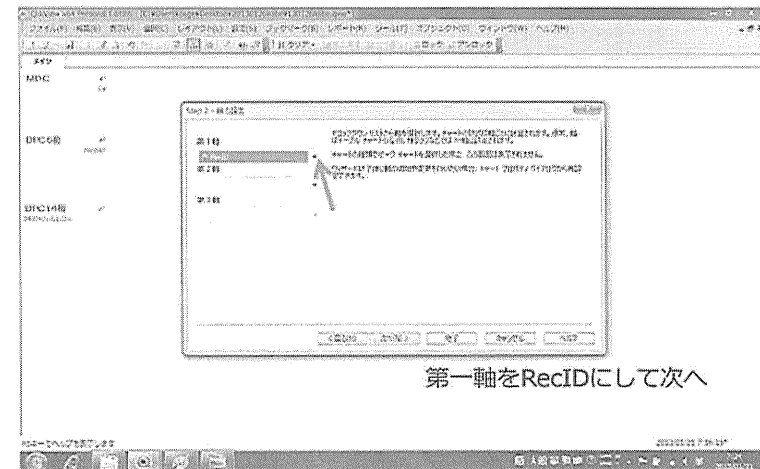


452

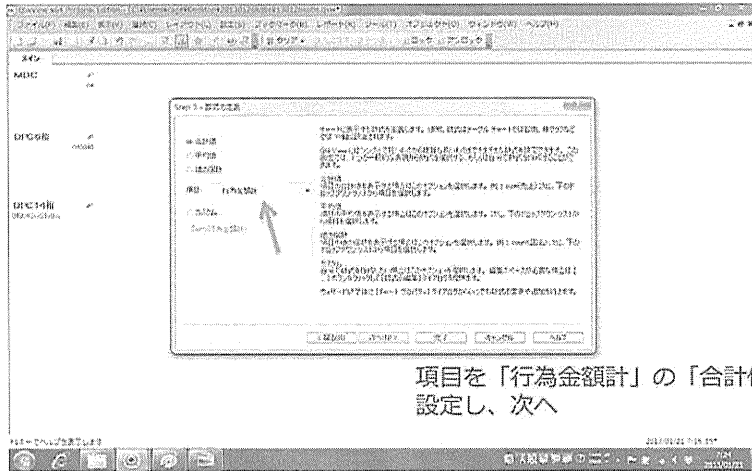
# チャートの作成



# チャートの作成

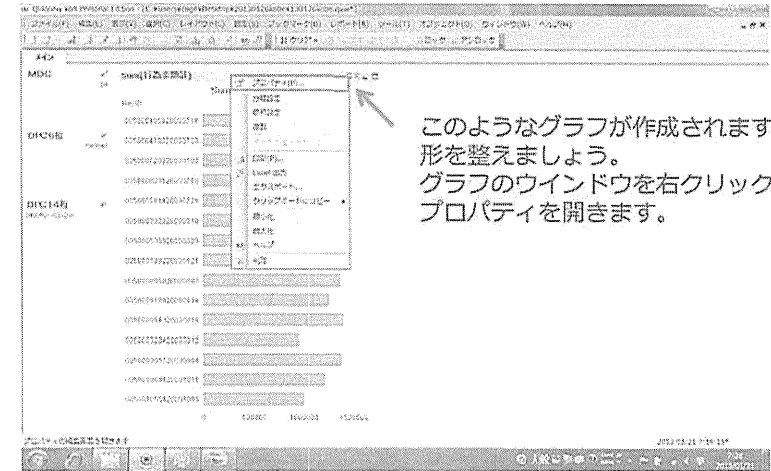


# チャートの作成



項目を「行為金額計」の「合計値」に設定し、次へ

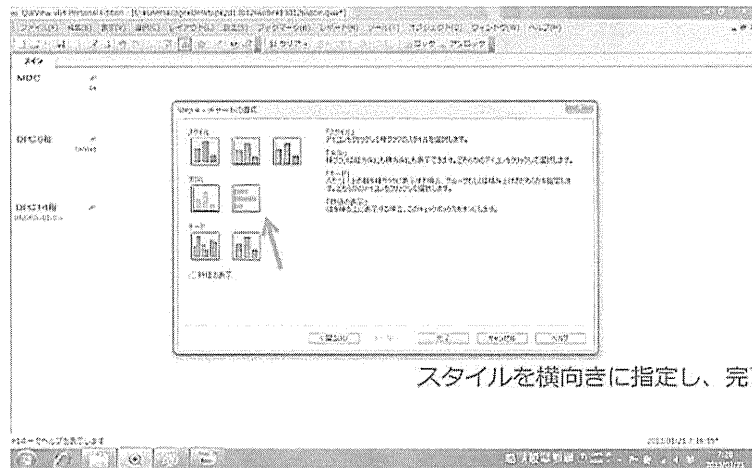
# チャートの見栄えをよくしよう



このようなグラフが作成されます。形を整えましょう。グラフのウィンドウを右クリックしプロパティを開きます。

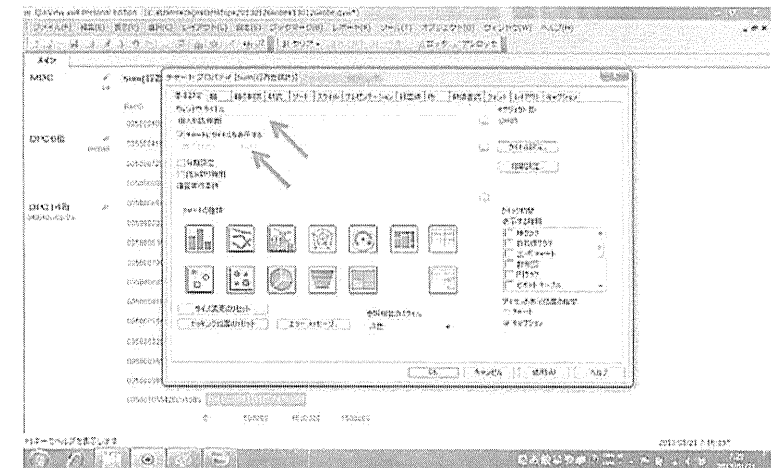
453

# チャートの作成



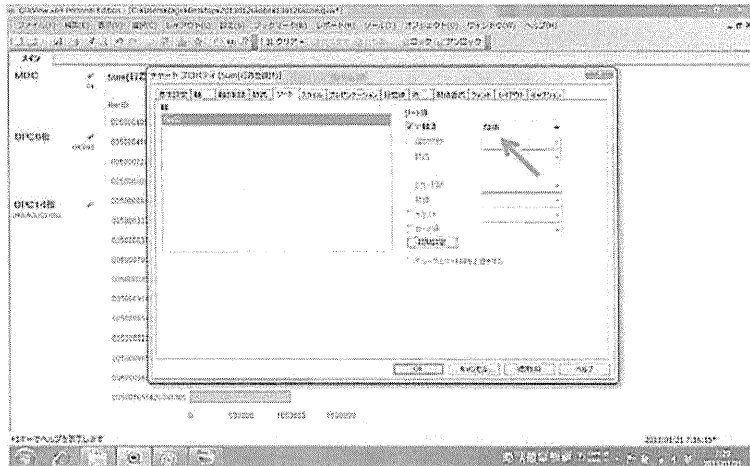
スタイルを横向きに指定し、完了

# タイトルの変更



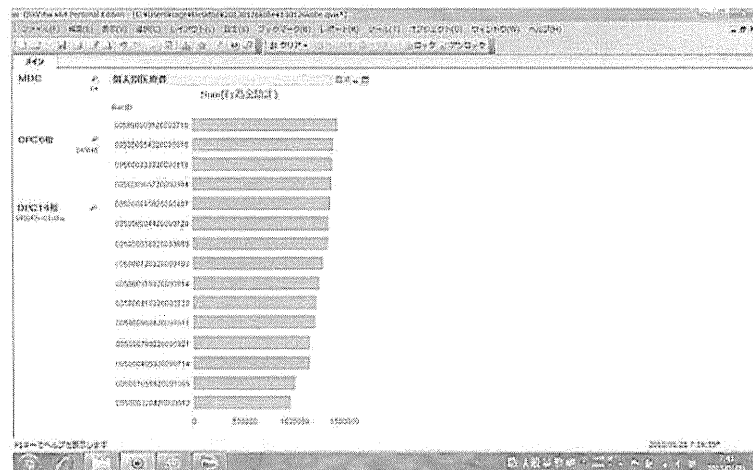
ウィンドウのタイトルを変更できます→。チャートのタイトルも変更できます→。

## 並び替えを行う



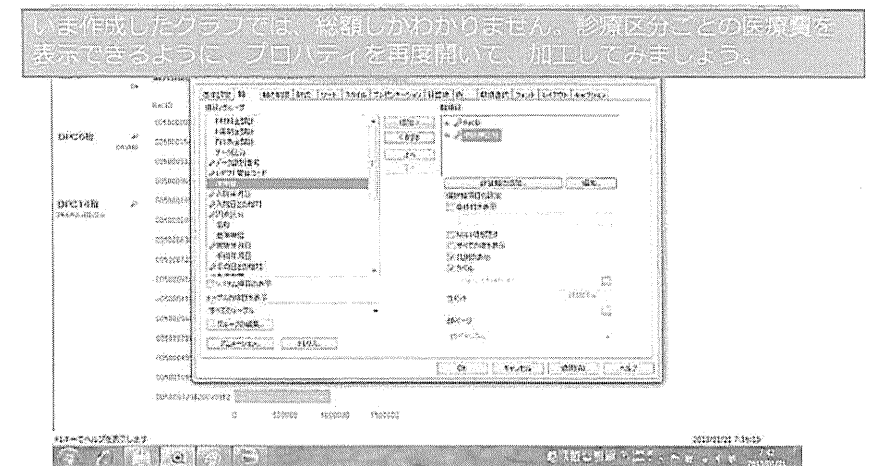
Y軸値の降順にすることで、総額が多い人から表示できます。

## 並び替えを行う



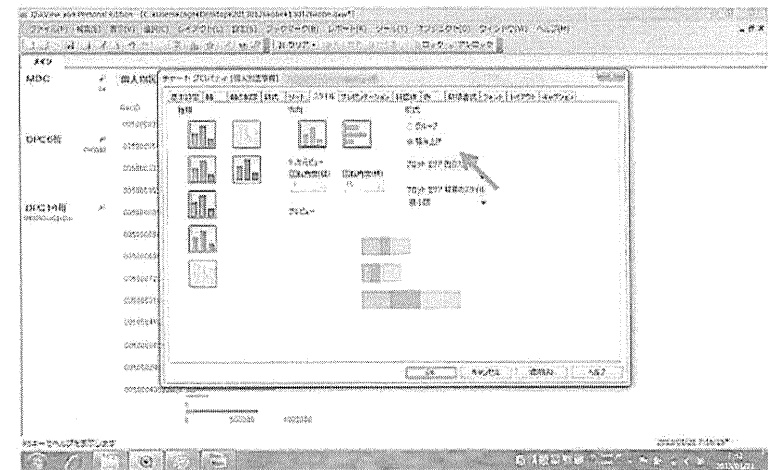
並び替えるとこのように表示されます。  
次に、診療区分（基本料や薬剤、手術などのカテゴリ）ごとの医療費の積み上げます。

## 診療区分ごとの積み上げを作成



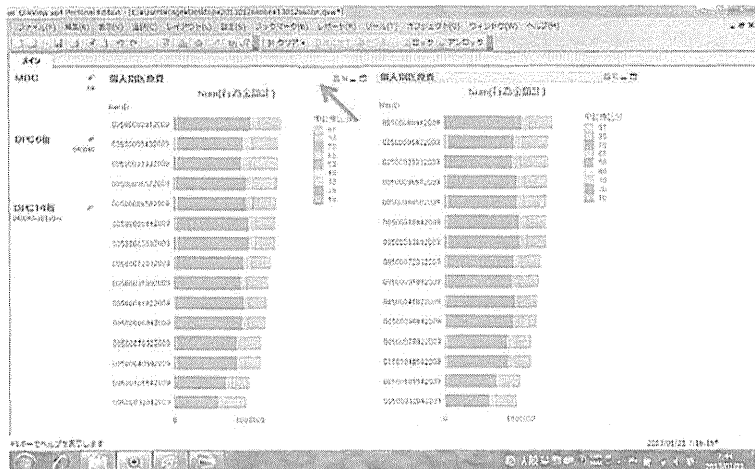
「軸」のタブを開きます。項目から軸項目へ「中診療区分」を追加します。

## 診療区分ごとの積み上げを作成



「スタイル」のタブを開きます。形式をグループから積み上げに変更します。

# 診療区分ごとの積み上げを作成

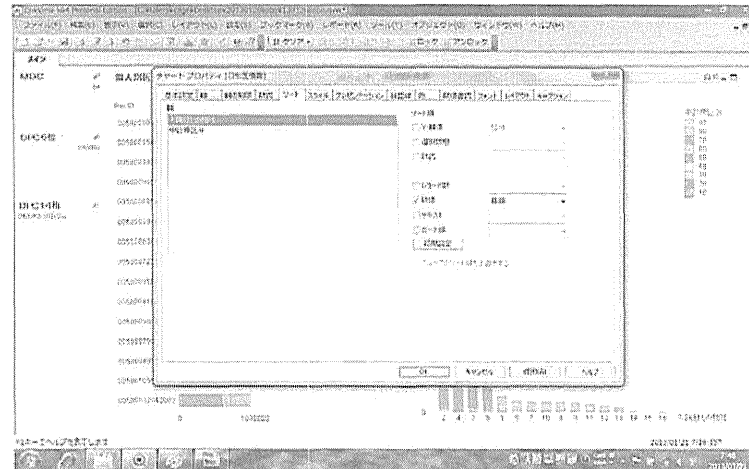


中診療区分ごとの積み上げグラフになりました。→ウィンドウの上部灰色のところをクリックし、Ctrl+C →Ctrl+Vでグラフが複製できます。（上図は実行後）

455

# 日ごとの医療費グラフの作成

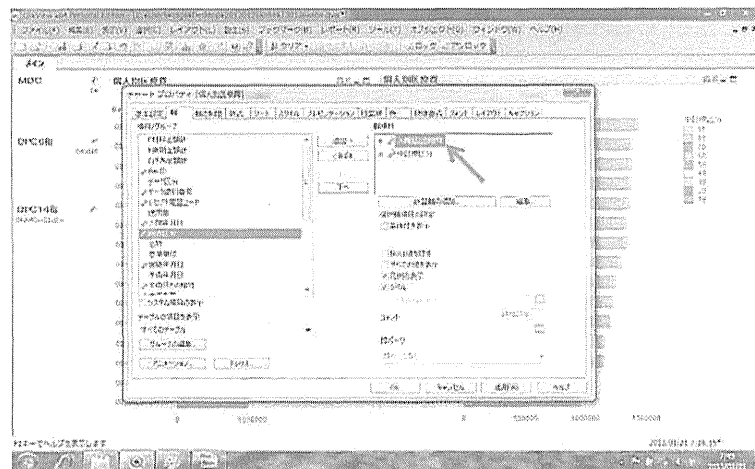
複製した側のグラフのプロパティを変更することで、新たなグラフを作成できます。



「ソート」の「入院との相対」を、数値の昇順にします。これで日付順に表示されます。

# 日ごとの医療費グラフの作成

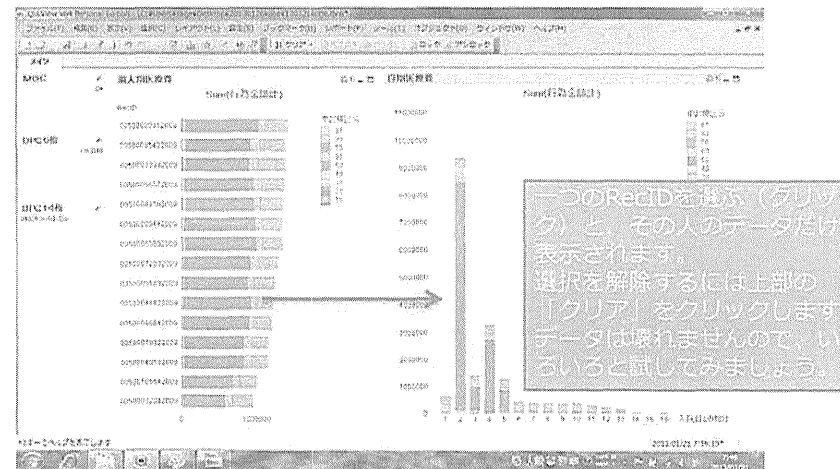
複製した側のグラフのプロパティを変更することで、新たなグラフを作成できます。



「軸」のRecIDを「入院日との相対」に変更します。順序は「上へ」「下へ」ボタンで変更します。

# 日ごとの医療費グラフの作成

複製した側のグラフのプロパティを変更することで、新たなグラフを作成できます。

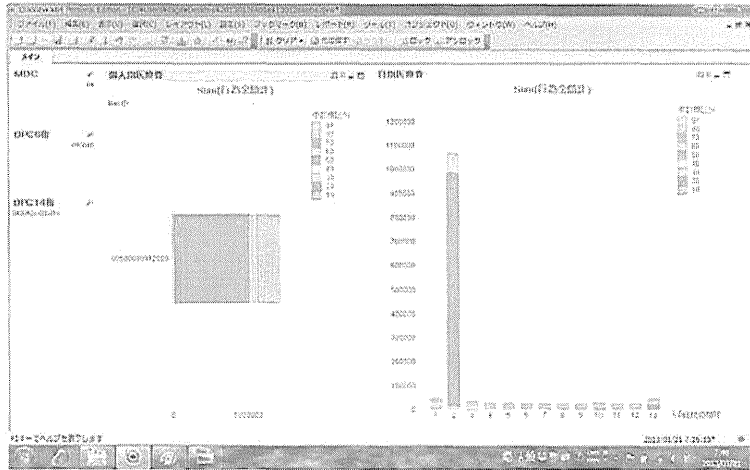


新たなグラフを作成できました。縦向きの方が見やすかったので縦にしてみました。（※プロパティ→スタイルで変更です）



# 日ごとの医療費グラフの作成

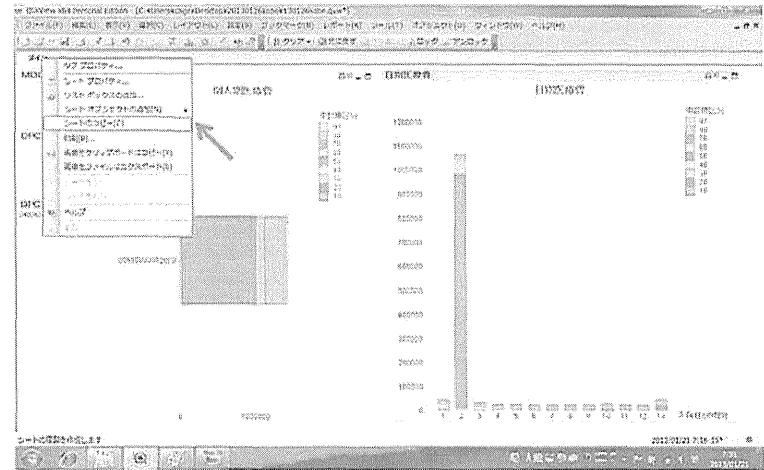
複製した側のグラフのプロパティを変更することで、新たなグラフを作成できます。



前頁で一人だけ選択したあとの状態です。

# 日ごとの出来高医療費グラフ

シート丸ごとコピーできます。「メイン」と書いてあるタブを右クリック。



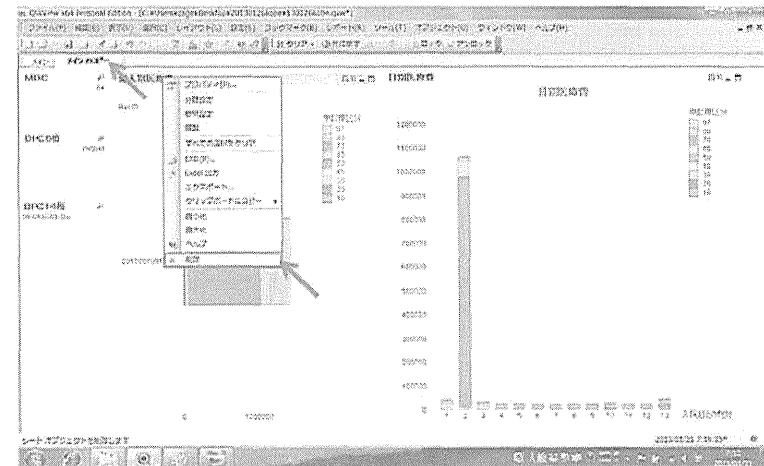
シートのコピーを選択します。「メイン のコピー」というシートができます。

## この画面の使い方

- MDC,DPC-6,DPC-14で分析対象を絞る  
(そのほかにも切り口はたくさんあります。独自の切り口を見つけてください。)
- 対象となる患者グループが左側のグラフに表示される
- 分析対象とする患者を選定する  
一人だけ手術の金額が高い、手術ありのコードなのに手術の費用が出てこない、薬剤料が一人だけ多い、等々
- 対象とした患者の日ごとの医療費の変遷を見る

# 日ごとの出来高医療費グラフ

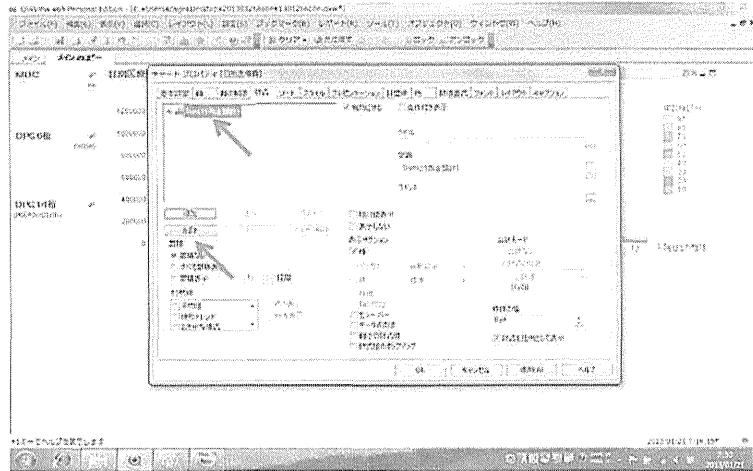
できました！



左側のグラフは不要なので、右クリック→削除としましょう。

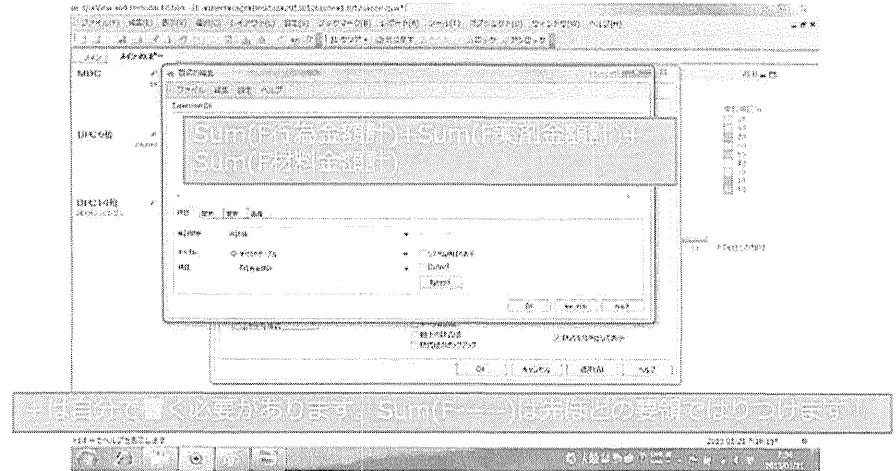
# 日ごとの出来高医療費グラフ

中診療区分ごとに表示されていた日ごとのグラフのプロパティを変更します。



「軸」のSum(行為金額計)を削除します。

# 作成する数式

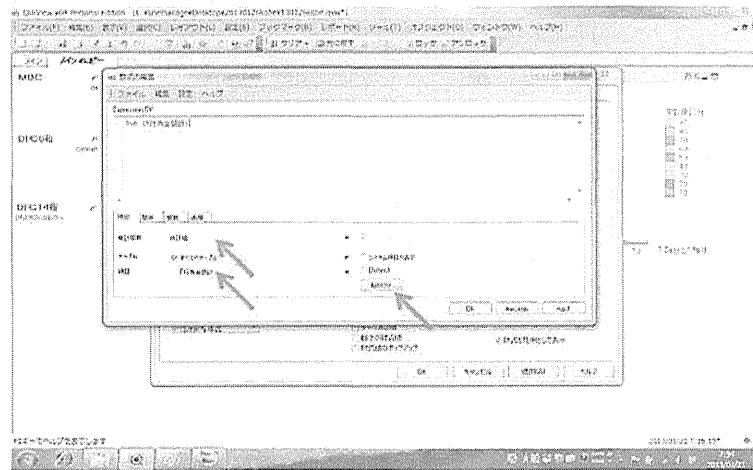


数式完成後OK→OKとクリックしていけば、出来高での日別医療費のグラフが完成です。

457

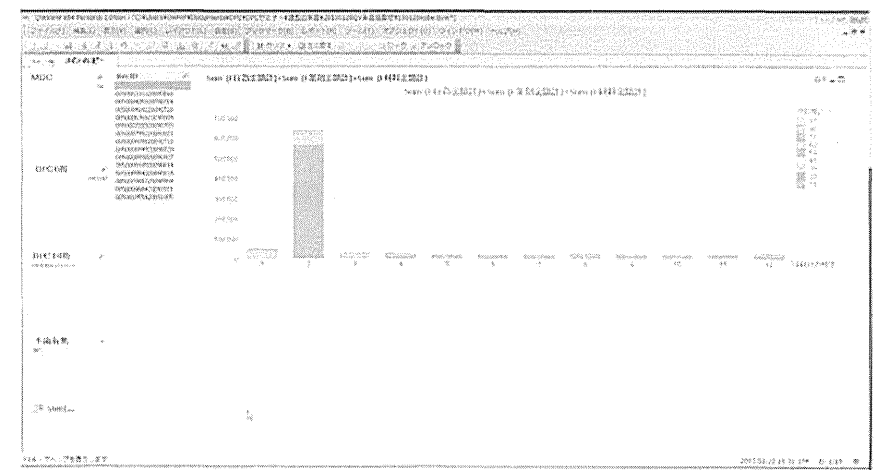
# 日ごとの出来高医療費グラフ

軸の「追加」ボタンをクリックします。すると、数式の編集画面が現れます。



集計関数を「合計値」、項目を「F行為金額計」とし、「貼り付け」をクリックします。すると、上の数式欄に表示されます。

# 日別出来高グラフの完成



見栄えを良くする方法（タイトルの変更など）は前述のとおりです！